

小樽商科大学 体育館が 完成しました



体育館全景

今春、竣工となった本学「第一体育館」は、前身の小樽高商から数えると第三代目にあたります。昨年度まで使用されてきた築四十年の旧第一体育館は老朽化が目立ち、安全面や衛生面、さらに教育環境面における種々の問題点を抱えながらも、関係各位の努力と忍耐により何とかその目的を果たしてきました。かかる意味においても、この度の竣工・落成は言ってみれば長年の悲願がようやく実現したことになります。

新規程も制定され、この4月1日より施行されている本学の体育館は、正課授業をはじめ、多くの課外活動や各種の大学行事のほか、地域社会に関われた体育・スポーツ施設として位置づけられており、教育・研究・福利厚生・地域貢献といった多面において、それぞれの目的が達せられるよう配慮されています。

延べ面積は2,326平方メートル。1階にはアリーナ・武道場・管理室・器具庫を、2階にはゼミ室・測定（実験）室・多目的室・ウォーキングトラックなどが設けられました。既設の第二体育館（アリーナ・マシン専用トレーニング室・フリーウェイト専用トレーニング室・空手道場・土間練習場）や、弓道場、野球場、室内温水プール、山上グラウンドなどと合わせ見た時、スポーツ施設面においても益々充実し、他に勝るとも劣らない“小樽商科大学”の姿が容易に想起できる筈です。次代を担う青年期における人格形成上での“心身両面での教育”の必要性と大切さを知る学舎、それが“小樽商科大学”とすることができるのではないのでしょうか。

（一般教育等・健康科学教授 田野 有一）



アリーナ



ウォーキングトラック



武道場



測定室



ゼミ室



多目的室

